

比較文化 / 考古学 ご担当者様

中国書店❖ 1月下旬刊

行動する考古学

高倉洋彰 著

A 5判上製 362 ページ 3,780 円 (本体 3,600円+税)

ISBN978-4-903316-36-9 C0020



総合科学としての考古学においては、考古資料（遺跡・遺構・遺物）に基づく知の蓄積「知学問」に加え、交流と見聞による「目学問」・「耳学問」が重要である――。

韓国・中国を中心とする国際交流，九州国立博物館の誘致，大学博物館の運営，聖嶽洞窟遺跡事件，紙踏絵の研究など，著者独自の多彩で広範な“見聞考古学”の成果。

比較文化論や交流史論に視点を定めた 比較考古学の実践

目次

- はじめに
- 国際交流の考古学
 - I 国際化の遺跡
 - II 国際交流の精華・弥生文化
 - III オウの誕生
 - IV 国際文化のなかの考古学
 - V 碣石宮と徐福
 - VI 兎は月で餅をつく
 - VII 寧波をさわがす日本人
 - VIII 南方世界との交流の門戸としての琉球
- 現地踏査は知識の泉
 - I 旅・ヒラメキ・苦吟
 - II 赤飯と赤酒
 - III 魔除けの鏡
 - IV 中国・中原の古代を旅して
 - V 慶州で大宰府を考える
- 観世音寺の墓と鐘
 - I 観世音寺の創建期について
 - II 観世音寺戒壇と延暦寺戒壇
 - III 馬頭観世音像の慈悲と忿怒
 - IV 中世観世音寺の隆盛と衰退
 - V 観世音寺宝蔵
- 九州国立博物館の誘致と開館
 - I ミュージアム・グッズの楽しみ
- II これからの博物館像とは
- III 博物館のある街の景観
- IV 二つの国立博物館の誕生
- V 『ミュージアム九州』に集った研究者たち
- VI 九州国立博物館開館一年に思う
- 大学博物館の必要性
 - I 大学博物館への期待
 - II 大学の知性の象徴・大学博物館
 - III 西南学院大学博物館設置の意義
- 聖嶽洞窟事件の解明
 - I ふたりの大人
 - II 九州の考古学と賀川光夫先生
 - III 聖嶽洞窟遺跡に関する問題の所在と検証
- キリシタン文化研究事始め
 - I 景教僧文青磁壺（古青磁貼花神佛像長壺）
 - II 踏絵の一形態 紙踏絵の紹介と検討
- 硬軟の考古学
 - I 交差年代決定法による弥生時代中期・後期の実年
 - II 博多の夜は屋台で飲もう
- 図版の出版



右上：著者、韓国慶州市掛陵の胡人像とともに。左上：端麗な姿の猛将金庾信將軍の墓。左下：国雲南省西双版纳タイ族自治州、市場で売られていた紫色のササゲ入り赤飯。

著者略歴 高倉洋彰（たかくら・ひろあき）

1943年5月11日、福岡県朝倉市に生まれる。筑紫丘高校，九州大学文学部卒業，九州大学大学院文学研究科博士課程修了。九州歴史資料館技術主査を経て，西南学院大学文学部教授。現在，国際文化学部教授。文学博士。【著書】『弥生時代社会の研究』（東出版寧楽社，1981年），『日本金属器出現期の研究』（学生社，1990年），『弥生』（光文社文庫，1991年），『金印国家群の時代』（青木書店，1995年），『大宰府と観世音寺』（海鳥社，1996年），『交流する弥生人』（吉川弘文館，2001年），『箸の考古学』（同成社，2011年）【編著】『観世音寺』（淡交社，1981年），『日本における初期弥生文化の成立』（文献出版，1991年），『AMS年代と考古学』（学生社，2011年），『大学の福岡・博多ガイド』（昭和堂，2012年）ほか【共訳書】『図説中国古代銅鏡史』（中国書店，1991年）ほか論文多数。

中国書店 【貴店番線印】	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-903316-36-9 C0020
	冊	/	様	行動する考古学
	地方・小出版流通センター取扱			定価 3,780 円 (本体 3,600円+税)
	福岡市博多区中呉服町 5-23 TEL 092-271-3767			

【ご注文は FAX : 092-272-2946 まで】